

2022 年度 (令和 4 年度) 学校評価自己評価表

中央	中学校区	校番 53	福山市立 西深津小 学校
最終更新日		2022年(令和4年)4月 9日	

I 福山市	<p>ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p>
-------	---

II 中学校区		
<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、各学校感染拡大防止策を考え工夫されて学習、行事に取り組まれている。子どもたちが、学校が楽しいと感じられるように校区の学校が取り組んでほしい。 ・評価項目の8項目において、十分満足、概ね満足できるという肯定的評価をいただいております、引き続き努力してほしい。 	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子ども主体の学びづくりの中で、主体性が育ちつつある。 ○小中共通の取組で、中学校生活に円滑に移行できている。 ●不登校傾向にある児童生徒数の割合が高い。 ●家庭での学習習慣をより主体的にする必要がある。 	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>スキル・・・ A【知識・技能】 B【思考力・判断力・表現力】 倫理観・・・ C【協調性】 D【思いやり】</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>ふるさとを愛し、地域の中で、伸びやかにたくましく成長している</p> <p>中学校区として統一した取組等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 校区合同で実施する授業研究 2 生徒会、児童会による「いじめSTOP集会」や「あいさつ運動」の実施 3 校区校長会、校区教頭会、校区各主任会等を通しての連携

III 自校	
<p>ミッション</p> <p>高い志を持ち、たくましく生きる子どもの育成</p>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>スキル・・・ A【知識・技能】 B【思考力・判断力・表現力】 倫理観・・・ C【協調性】 D【思いやり】</p> <p>めざす子ども像</p> <p>低</p> <p>A 基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができる。 B お互いの考えを聴き合い、思いを伝え合うことができる。 D 相手の立場に立って、友だちの気持ちを考えることができる。</p> <p>中</p> <p>A 基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、既習の知識と比較することができる。 B 他者の考えを聴き、さまざまな気づきを持ち、自分の考えと比べながら表現できる。 D 友だちの気持ちや周囲の思いを考えた行動ができる。</p> <p>高</p> <p>A 基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、関連付けて考えることができる。 B 他者の考えの意図を感じながら聴き、自分の考えを深め、その変化を表現することができる。 D 相手や場に応じて適切な言動ができると同時に、今、何をすべきかを周囲に提案できる。</p>
<p>学校教育目標</p> <p>「学ぶ楽しさ、生きる喜び」を持つ子どもの育成</p>	
<p>現状</p> <p>〈児童生徒〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童が企画・立案・実行して活動を仕組む力がついてきている。 ○異学年交流活動を通して、相手意識をもった行動が増えてきた。 ○自主学習の計画を立てることができる児童が増えてきた。 ●自分の思いを相手にわかりやすく伝えるように表現できない。 ●自己肯定感が低い傾向にある。 <p>〈授業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童が課題を選び、協働して学習していく学習活動ができてきている。 ●児童が「学びが面白い」と感じる思いや姿を子どもたちの中に共有できていない。 ●子どもが学ぼうとしていることに任せきれず、探求させなかったり「正解」を求めたりする授業になることがある。 	<p>テーマ</p> <p>豊かな対話による一人一人の学びの創造 ～聴き合い学び合いを通して、共に「さぐり」「学び」「決める」～</p> <p>研究内容等</p> <ol style="list-style-type: none"> ①児童が選択し、自己決定し、協働で学び表現し合う ②児童が課題を設定し、課題解決方法を考え、主体的に展開する <p>めざす授業の姿</p> <p>子どもたちが思いや考えを表現し、意見を取り入れたり、協働して考えたりしながら教え合い表現し、友だちや自分の良さを感じる授業</p>